八王子市立長沼小学校

学校運営協議会だより　No.11

地域運営学校(コミュニティ・スクール)

令和２年11月吉日

『コロナ禍での地域活動』　校長　瀧村 博昭

今年度は、今までに誰も経験したことのない緊急事態が起こっています。学校の教育活動も大幅な変更を余儀なくされ、学校教育と密接な学校運営協議会も年度初めは、なかなか開催することすら難しい状況でした。今も昨年度まで携わってきた様々な活動が中止になったり、制限されたりしています。

私は、常々、地域と学校をつなぐ架け橋として「子供」を考えており、子供たちが元気に地域に飛び出し、地域行事に参加することで、子供も地域も活性化されると考えています。昨年度は、そのために『ながぬま IKU！IKU！DON！DON！カード』（地域元気カード）を作成しました。まだまだ認識不足があり、今年度こそ、長沼小学校の子供たちの中で根付いていく一歩と思っていました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域行事が全く行われないのが現実です。（今年度は、カードの配布はしていません。）子供たちが地域の皆さんと触れ合う場が本当になくなりました。

そんな新生活様式の中、今できることは、やっぱり「挨拶」だと思っています。マスクをかけ、大声を出さないという中で、この「挨拶」の習慣ですら低下しているのが現実です。しかし、お家でも地域でも学校でも「挨拶」の心を力強く続けていくことが大切だと思います。

～今年度の学校運営協議会委員9名を紹介します。～

会　長	矢島 重男（初代PTA会長）
副会長、 防災・安全教育推進	田代 平二（長沼町会会長） 吉田 升三（絹ヶ丘一丁目自治会会長）
学びの推進	山﨑 悠一　（青少対副会長・打越中コーディネーター） 二戸 まさ代（元PTA会長）
遊びの推進	毛利 文子（安全ボランティア・放課後子ども教室） 三矢 真人（青少対由井東地区元会長）
PTAとの連携調整	大谷　麗　（PTA会長）
学校代表	瀧村 博昭（校長）

事務局　小山 元（副校長）
吉冨 太郎（主幹教諭）、堀内 正人(主幹教諭)

地域運営学校（コミュニティ・スクール）とは

長沼小学校は６年目になります。
地域運営学校(コミュニティ・スクール)に指定された学校は、「学校運営協議会」が設置され、教育委員会から任命された保護者や地域の方々などが、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動に意見を述べたりすることを通じて、学校の様々な課題解決に参画します。
本校の学校経営計画の柱『共育』を一層推進していくことにつながります。

○学校運営協議会の3つの役割

1. 学校と地域の人々が学校の様々な課題に対して、話し合って方向性を記します。(熟議)
2. 学校と地域が同じ目標に向かって、一緒になって学校と活動します。(協議)
3. 校長を中心に、人をつなぎ、学校の組織力を向上させます。(学校のマネジメント)

○期待される効果

1. 学校と地域が一緒に創意工夫して学校の課題を解決することができる。
2. 今まで以上に保護者と地域住民の意見を反映した教育課程の編成ができる。
3. 地域との連携が深まり、特色ある教育活動である地域の自然・人材を生かした体験的な教育活動が推進される。